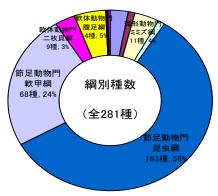
最新(R元年度)の河川水辺の国勢調査では281種の底生動物が確認されています。

このうち重要種(絶滅が危惧されている貴重な生物)は51種です。

下流の汽水域(潮の満ち干きの影響を受ける場所)では、干潟やヨシ原などが広がり、タケノコカワニナなどの貝類やカワスナガニなどのカニ類 等が生息しています。五ヶ瀬川河口域は干潟の生物多様性が高く、日本の重要湿地500に指定されています。

中上流の淡水域では、瀬・淵・ワンド、水際の植物帯などさまざまな環境がみられ、トンボ類の幼虫などの水生昆虫や海と川を回遊するエビ類な

どが生息しています。



R元年度の河川水辺の国勢調査における確認種数の網別割合

## ■環形動物門 ゴカイ綱

- ■環形動物門 ヒル綱
- □環形動物門 ミミズ綱
- □節足動物門 顎脚綱
- ■節足動物門 昆虫綱
- ■節足動物門 軟甲綱
- ■軟体動物門 二枚貝綱
- ■軟体動物門 腹足綱
- ■紐形動物門 有針綱 □扁形動物門 有棒状体綱



## ハビタット(牛息環









## 五ヶ瀬川水系に生息する重要な生物や特徴的な生物

環境省RL:VU 絶滅危惧 II 類 宮崎県RL:EN-g 絶滅危惧 I B類



種名:タケノコカワニナ 汽水域の干潟の砂泥底に生息する巻貝です。形と模様がタケノコに似ています。

環境省RL:NT 準絶滅危惧 宮崎県RL:DD-2 情報不足



種名:ヤマトシジミ 汚水域の干湯の砂泥底に生息する二枚貝です。 友内川などでは水産資源としても



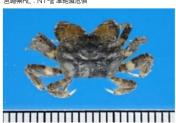
種名:シオマネキ 汽水域の干潟やヨシ原に巣穴を掘って生息するカニです。 片方のハサミが大きく 体が赤色を帯びているのが特徴です。

環境省RL:VU 絶滅危惧Ⅱ類 宮崎県RL:EN-r 絶滅危惧ⅠB類



種名: ナラビオカミミガ-汽水域のヨシ原でみられる小さな巻目です。満瀬線付近の流木の下など限られた環境に生 息しています

環境省RL:NT 準絶滅危惧 宮崎県RL:NT-g 準絶滅危惧

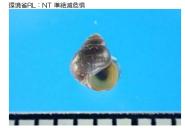


種名:カワスナガニ 汽水域の減弱帯や洩場でみられる小さなカニです。川底の礫のすき間に隠れて生息しています。

宮崎県RL:NT-r 準絶滅危惧



回遊性で、成体は淡水域の清流に生息するエピです。流れの速い瀬の石の下などに生息し ています



種名: クリイロカワザンショウガイ 生息できなくなります

宮崎県RL:NT-g 準絶滅危惧



種名:ヒメヤマトオサガニ 汽水域の干渇でみられるカニです。砂泥底に浅い巣穴を掘って生息しています。

宮崎県RL:NT-r 準絶滅危惧



種名: オナガサナエ 淡水域の清流に生息するトンボの幼虫(ヤゴ)です。幼虫は流れのある砂礫底、 成虫は山林などで生活します。